

十全看護専門学校

令和七年度 一般入学試験（二次）

国語総合

令和七年二月二十日実施

☆注意 解答はすべて解答用紙に記すこと。誤字・略字・崩し字は認めない。きちんと丁寧に書こう。

一 次の文章を読み、後の問いに答えよ。（設問の都合上、一部表記を添字・省略している。）

（父を事故で亡くし鬱病で働けない母と幼い妹を支え生活保護を受け暮らす佐野樹希。医師の父の期待を受け有名私立中に進学するもついでいけず公立中に転校した山之内和馬。中三の同級生だが距離のある二人が、子どもを受け入れてくれる街のカフェ「居場所」で出会い合っていく。）

「……佐野さんを待ってました」山之内は読んでいたア厚い本を閉じて、あたしの前に差し出した。

「……生活保護手帳？ なにこれ？」

めくってみると、細かい字が横書きで、ぎっしり印刷されていて（A）（する。ページ数がイ異様に多くて、百科ウじてんみみたいだ。こんな本、よく読めるな。

「きみが受けている生活保護制度について、書かれた本だよ。前に言ってたよね。生活保護家庭の子どもは、高校を出たら働かないといけないと。バイトをして、貯金する自由もないと」

「まさか……」「そのことを調べたの？ この難しそうな本で？」

よく見ると、エメがねの奥の目がオじゆうけつして（B）（してる。寝不足？ こんな目になるまで、ずっと本を読んで調べてたのか？（略）

① 基本的にはそのとおりなんだ。けれどもいくつか例外と認められるケースがあるわけで」

（山之内は、進学や就職の準備のためのアルバイトや貯金は数年前から例外として認められ保護費が減らされてきたこと、生活保護家庭から書類上の世帯分離することで高校卒業後の進学が認められること等、級友の叔父の社会主義者の助言で読んだ本の山からわかったことを話す。）

あつけにとられた。ほんとなのか？（略）

「ケースワーカーが言ってたことと、話がカちがうじゃん」

「きみのケースワーカーさんは、まちがったことは言っていない。ただ例外やキ裏技なんかの、クふみこんだ説明をしていないんだ。その点、職務ケたいまんだよ。あるいは……」山之内は、さっきの「生活保護手帳」という本を指し示す。

「こういう、ものすごい量の規則が、全部頭に入っていないことも考えられる。量が多いうえに、年々変化しているからね（略）進学できるの？ C□、持っていないの？」

進路を選ぶD□が、あたしにもあったの——？

「だけど、コかんたんなことじゃない」

② 冷静な山之内の声に、我に返る。（略）

「今の法律だと、『サ世帯分離』をした子どもは、生活保護から抜けなきゃならない。家にはお母さんと奈津希ちゃん、ふたり分のお金しか出なくなる。きみの生活費は、きみ自身がなんとかしなきゃならないんだ。さらにシしようがくきんを受けられればいけど、そうでなければアルバイトでス稼ぐ必要がある。そのうえで学校に通って、勉強しなければならぬ。きみの場合は奈津希ちゃんの世話に、家事だってある。全部をこなしていくのは、ものすごくたいへんなんじゃ……」

「だいじょうぶ」あたしは山之内を見返した。

「だって③あたし……、タフだから！」（略）

ハハの病気は、これからどうなるかわからない。あたしが十八になったとき、奈津希はまだ小学一年生だ。

働いて、稼いで、勉強して。奈津希の世話に、家事いつさい——？

けれど、それでも。

なりたいたいものになれる可能性だけは、ひとすじの光だけは、あたしの前に射しこんだ。

「佐野さんは、なぜ進学をしたいの？」セえんりよがちに、山之内が聞いてきた。

「……看護師に……。なれたらなと思ってたんだ」

十一歳のあの日。

パパが死んで、ハハは頼りにならず、それどころか救急車で運ばれて。

このままハハまで死んだら、ひとりぼっちでどうやって生きてけばいいんだ。さすがの強気も吹っ飛んで、声も出せないくらい不安だった。

そのときにソせなかをさすってくれた、あの人の手。

どんなにかあたしは、その手にタすくわれたことだろう。

「ハハが病気で倒れたとき、出会った看護師さんがいたんだ。あたしんち貧乏って知って、自分の仕事じゃないのに、かけずりまわっているんなりに相談してくれて。それでうちは、生活保護を受けられるようになったんだ。どんだけ助かったかわかんない。

（略）④あたしあのととき、どんだ底の暗いところから、初めてちゃんとした大人を見たんだ。将来なにかになるんだったら、あの人もたく看護師になろうってずっと思ってた。（略）けど、看護師は高校出ただけじゃなれない。（略）だから、あきらめてた」

「あきらめないでほしい。決して、楽な道ではないとは思って」（中略）

「結局、⑤制度というものは、知らなければ確実にチソンチソンをするってことだね」(略)

2

「こういう本をちゃんと読んで勉強しとけってこと？ 生活に追われてる人間に、そんなツひツひまも元気もないんだけど。それに、いろいろE仕入れて、これを利用したいあれも利用したいって主張すると、また世間から言われるかもな。貧乏人のくせに、調子こいてる。ずるいって」

——いいよな、おまえら。テとくしやがって——

⑥そういう感情はとても怖い。生きてるだけで感謝しよう。お金もらってるんだから、感謝しよう。そうやって遠慮しながら、目立たず控えめに生きていくのが、あたしら貧乏人の運命だと自分に言いきかせてた。

そう思っつてずうつと耐えて、なにもかも、どうでもいいような気になって。じゃあ未来をめきらめるのかと思うと、心がひねくれそうになって……。

「ずるくはない。それは権利だ」

山之内はきつぱりと言つと、本の山から「生活保護手帳」を指さした。(略)

「生活保護法 第一章 第二条『すべて国民は、この法律の定める要件を満たす限り、この法律による保護を、無差別平等に受けることができる』」

山之内はスラスラと暗唱した。

「無差別？ 平等？ きれいなことだな」

「そつだね。この世は平等なんかじゃない。みんなが平等だというのは、ウソだと思う。だけどこの法律は、⑦『それは言っていない』。保護が『無差別平等』なんだ」

力をこめて言つと、本の表紙に目を落とす。

「貧乏は自己責任だと言つう人もいるけれど、この法律はそんなふうには切り捨てない。努力が足りなかったせいとか、行いが悪かったせいとか、過去の事情はいつさい問わない。ほんとうに困窮困窮している人々には、すべて平等に手をさしのべようという……。これを読んだとき、ぼくは人間を信じてもいい気がしたんだ」(略)

「小さくて、弱ちなくて、自分勝手だけど……、人間って、捨てたもんじゃないかもって」

出典「むこう岸 安田夏彙 二〇一八年刊 講談社(作中の制度は二〇一八年当時のもの)

問一 傍線部ア～トの漢字は読みを、仮名は漢字を正しく記せ。

ア分厚い イ異様 ウ(百科)じてん エめがね オじゆうけつ カちがう キ裏技 クふみこんだ ケたいまん コかんだん
サ世帯 シしようがくきん ス稼ぐ セえんりょ ソせなか タすくわれた チそん ツひま テとく ト困窮

問二 1 空欄A Bにあてはまる語句を次から選んで記せ。

- 〈キヨロキヨロ・クラクラ・サラサラ・シヨボシヨボ〉
2 こういう人や物の様子や状態を表現する語句を何と呼ぶか、次から選んで漢字で正しく記せ。
〈ぎおん()・ぎたい()〉

問三 ①「基本的にはそのとおり」の、

- 1 「その」の内容を前の文中から抜き出し記せ。
- 2 そのことよって佐野から奪われていたものは何か、佐野の気持ちを考えて後の空欄C Dに最適な語句を次から選んで記せ。
C 漢字一字 D 漢字二字 C 〈志 道 夢〉 D 〈希望 自由 権利〉

問四 ②「冷静な」とあるが、山之内はあえて冷静に説明していると思われる。それはなぜか、山之内の気持ちを考えて説明せよ。

問五 ③「あたし、タフだから！」とあるが、

- 1 「タフ」とは、佐野のどのような性質・人柄を表す語句か、タフの語意を考えて記せ。(後の文中の語句を用いてもよい)
- 2 この言葉には、これまで家族を支えてきた佐野のどんな思いが込められているか、考えて、次から一つ選んで記号を記せ。
〈ア 自負 イ 忍苦 ウ 悲嘆 エ 諦念〉
- 3 佐野のように、十八歳未満の子どもでありながら病気の家族の世話や家事を一人で担い、学業にも支障を来す若者の増加が今問題になっている。このような若者を何と呼ぶか、カタカナ七字で記せ。

問六 ④「あたしあのととき、どん底の暗いところから、初めてちゃんとした大人を見た」とあるが、

- 1 「どん底の暗いところ」とは、佐野が何歳の、どういう状況で、どんな気持ちの時か、文中の語句を用い説明せよ。
- 2 「ちゃんとした大人」とは、佐野にどんなことをしてくれた何の職業の人か、文中の語句に自分の言葉を補い説明せよ。
- 3 佐野はその人にどういう気持ちを抱いているのか、考えて漢字二字の熟語で二つ以上記せ。(無理なら文でもよい)

問七 ⑤生活困窮者・社会的弱者が制度を利用するために必要なのに、生活や時間に余裕がなく自分で探して手に入れにくくなっているものは何か、後の空欄Eに当てはまる語句(漢字二字の熟語)を考えて記せ。

問八 ⑥「そういう感情はとても怖い」とあるが、「タフ」な佐野が怖れる「そういう感情」とは、誰(何)に対する、何(誰)のどんな感情か、考えて文中の語句に自分の言葉を補い説明せよ。

問九 ⑦「そうは言っていない」とあるが、

- 1 「そう」の内容を十五字以内でまとめて記せ。(句読点を含む)
- 2 ではこの法律は何と言っているのか。中心になる意味を山之内の言葉から一〇字程度で抜き出し記し(句読点を含まない)。
- 3 その説明を後の山之内の言葉から選び、まとめて記せ。

問十 この問題文を読んだ感想(特に印象に残ったこと、考えたこと、タイトル「むこう岸」の意味等自由)、自分がどのような看護師になりたいかを、四〇〇字以内で記せ。

タイトルは不要。段落は三段落まで(二段落でも可)。原稿用紙の使い方を守ること。

令和七年度 一般入学試験（一次）国語総合 解答

問一 アぶあつ いよいよ ウ(百科) 事典 エ眼鏡 オ充血

カ違 う きうらわざ ク踏 みこんだ ケ怠慢 コ簡単

サせたい シ奨学金 スかせ ぐ セ遠慮 ソ背中

タ救 われた チ損 ツ暇 テ得 トこんきゆう

問二 Aクラクラ Bシヨボシヨボ 擬態語

問三 1生活保護家庭の子どもは、高校を出たら働かないといけない。バイトをして、貯金する自由もない

2 C夢 D自由

問四 高校卒業後、世帯分離をして進学しても、生活費や学費の負担に加え、母親や妹の世話や家事など、大きな困難が予想されるので、佐野を心配し、期待させ過ぎないようにしている。

問五 1 強気 精神力が強い 困難に負けない 頑丈 etc. 2 ア自負 3 ヤングケアラー

問六 1佐野が十一歳の、父が事故で亡くなり、母は倒れて病院に運ばれ、頼る人もなく、不安でどうしようもない時。

2不安でたまらない佐野の背中をさすって力づけてくれ、佐野の家の困窮した状況を知ると、自分の職分を越えて各方面に働きかけ、生活保護を得られるようにして助けてくれた人。看護師。

3感謝 感動 憧憬 尊敬 etc.

問七 E情報

問八 生活保護受給家庭に対する、税金の無駄遣いなどという非難や中傷 妬み嫉みの声。

問九 1世の中は皆平等で差別などない。

2保護が『無差別平等』

3ほんとうに困窮している人には、その人の過去や責任を問わず、平等に手を差し伸べる、援助する。

問十